

## [特別講演概要] 未曾有の大災害に学ぶ

武村雅之（鹿島小堀研究室）

### 1. はじめに

講演にあたり、自己紹介も兼ねて今回の講演内容に係わる私の考えをまとめました。私は東北大学理学部地球物理学科で地震学を専攻し、昭和 56 年に博士課程を修了しました。地震学というと地震防災のための学問のように思われるかもしれませんが、実は地震というスケールの大きな自然現象にあこがれをもった人達によって育まれている学問です。いわば地震鯨と仲よし人間の学問です。それが、建設会社の研究所に就職し、地震工学の分野に一步足を踏み入れた途端、地震鯨は一転して戦う相手になってしまいました。私は 15 年間この溝を埋めることができないままにいました。ところがあることをきっかけに、その溝を埋めることができたのです。

### 2. 愛する故郷と地震

きっかけとは、平成 7 年の阪神淡路大震災の後に、神戸の人達が言った言葉、「関西には地震がないと思っていた。」を耳にしたことでした。神戸の人達は六甲山を故郷の山として愛しています。神戸の美しい自然は六甲山を抜きには語れません。でも六甲山は、震災を引き起こした地震の震源と同根の活断層が、何度も何度も繰り返し活動し、その度に高くなってきた山です。つまり地震が創った山なのです。

そんなことは、神戸に限ったことではありません。日本では山間部にも多くの人々が暮していますが、それは盆地があるからです。でも盆地の多くは、実は地震の結果生まれた活断層がつくる地形です。また、海岸部でも千葉県房総半島のように、平らで多くの人々が暮す土地のすべてが、関東地震をはじめとする大地震が起こる度に、海底が隆起してできたという所もあります。

こんな状況ですので、歴史を振り返れば、日本中どこでも、必ず故郷の地震に巡り合います。

我々が愛する日本の自然の多くが、地震によって創られてきたのです。地震は排除する敵ではなく、共存すべき対象だということです。我々の祖先が何度も地震の被害に遭いながらも、その土地に住み続けてこられたのは、自分達の故郷の自然を心から愛してきたからではないでしょうか。その力を地震防災に振り向ける原動力が自然現象である地震への理解であり、地震学はそれを支えるべき学問だということに気づきました。もちろん、今回の講演にもそんな視点を盛り込みました。

### 3. 関東大震災との出会いと今回の展示

そんな思いで足元を見たときに出会ったのが、大正 12 年の関東地震です。首都圏を中心に未曾有の大災害を引き起こした地震のことがきちんと理解されているのだろうか。地震の規模を示すマグニチュードは 7.9、その根拠は何？ 5 分間も揺れたというけれどもそんなことが果たしてあるのだろうか？ どこが揺れてどこが揺れなかったのか？ そもそも被害の総数は？ 一つとしてはっきりしていることがないことに驚きました。それから 15 年、地震記録はもとより、被害に関する資料や体験談などさまざまな資料を調べて今日に至っています。以下に示す拙著はその成果です。

そこで分かったことは、事実を記録し残すことと同時に、正確に伝えてゆくことの難しさです。我々専門家も含めて、もっともっと身の回りの自然や歴史に興味をもつ必要があるということです。我々は突然今ここにいるわけではありません。自然の中でまた過去の歴史の上に立って生きているのです。地震防災に取り組む際にも、ベースにそんな認識があってはじめてうまくゆくのではないかと思います。

今回の展示の対象となっている「震災地応急測図」63 枚が国土地理院で見つけたのは、阪神淡路大震災後すぐだったように思います。国土地理院からの連絡ですぐにおうかがいして拝見しました。まず印象に残ったのは、大震災の匂いを強く感じる資料だということでした。関東大震災には多くの写真が残されていますが、それらを見ても、どこか遠い世界のことのように思えるのに、当時の地図に書かれた生々しい記録は、我々の住む首都圏で確かに 85 年前に大震災が起こったことを確実に実感させてくれます。まさに地図の力というべきでしょうか。

まさか今回、「震災地応急測図」の展示に係わらせていただけるようになるとは夢にも思いませんでした。何かこの地図と特別な因縁があうように感じます。関東大震災を短い時間で語り尽くすことはできません。今回の講演では、そのうち、特に大惨事となった東京本所の陸軍被服廠と小田原の根府川での出来事に焦点をあててお話をいたしました。その中で「震災地応急測図」も用いました。展示での「震災地応急測図」による震災への実感さをさらに深めていただければと念じて講演をした次第です。

### 主な著書

「関東大震災 - 大東京圏の揺れを知る」鹿島出版会（2003）、「手記で読む関東大震災」古今書院（2005）、「天災日記 - 鹿島龍蔵と関東大震災」鹿島出版会（2008）、「地震と防災」中公新書（2008）